



## 今年も「トライ!」くにさき子どもたちの体力・運動能力向上に向けて ～令和3年「体力・運動能力調査」結果をうけて～

【問合せ】学校教育課 指導・人権教育部落差別解消推進係 ☎73-0066

世界的に流行を繰り返す新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度(令和2年度)の「体力・運動能力調査」は実施されませんでした。本年度(令和3年度)は実施され、その結果が公表されました。さまざまな日常生活における制約が影響し、全国的に児童・生徒の体力は低下したことが分かりました。

国東市の得点結果から、小学校よりも中学校の体力低下が大きくなっています。これは、学校の体育授業に加えて、部活動も制限されたことが大きな要因ではないかと考えています。

調査項目別【表1】をみると、小・中学生ともに「上体起こし」と「50m走」に課題が見られます。中学校では、「20mシャトルラン」「立ち幅とび」に課題が残る結果となっています。しかし、運動する機会が少なくなった現状でありながら、小学校3~6年(今年度1・2年生は前回結果なし)および中学校1~3年の7学年中、前回調査(令和元年)と同学年結果比較をすると、伸びが見られた学年は男女ともに5学年(71.4%)が上回っています。制約が多い中でも、学

校・家庭での取り組みが地道に継続されてきた成果だと考えられます。

市内の各学校では、体育の授業以外にも「一校一実践」として休み時間などを活用して、子どもたちが運動に親しむ活動を行っています。例えば、校庭にある遊具を使ったサーキットトレーニングや縄跳び・ダッシュ・持久走などの運動を組み合わせた活動を行っています。また、体育の授業の初めには、ストレッチや筋トレなどの運動(基礎体力づくりトレーニング)を取り入れています。

国東市教育委員会としては、児童生徒が市内のどの学校どの学級に所属していても、感染症対策を十分にとりながら、体力をつけることができる環境を作っていきたいと考えています。今後、「一校一実践」の内容の見直しを行いながら、各学校で充実した取り組みをしていく必要があります。

あわせて、地域のみなさんにも体力や健康づくりについての関心を高めていただければと思います。特に保護者の皆さんには以下の取り組みにご協力をお願いします。

【表1】令和3年度「体力・運動能力調査結果」調査項目別一覧

	握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび		20mシャトルラン		50m走		立ち幅とび		ボール投げ	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小1	○				○	○			○	○					○	○
小2	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
小3	○		○	○	○	○		○	○	○				○	○	○
小4			○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
小5		○		○		○	○	○	○	○			○	○	○	○
小6	○	○			○	○			○				○	○	○	○
中1	○	○			○	○	○	○						○	○	○
中2	○	○	○		○	○	○	○							○	○
中3	○	○			○	○	○	○							○	○

※ ○は全国平均を上回っている項目。144項目中88項目 61.1%

### 保護者の皆さんへのお願い

- ・小中学生ともに運動の機会を増やすようお願いいたします。
- ・子ども自身の力で登下校(自力登校)させるようお願いいたします。
- ・8月、11月に実施している「健康チャレンジ」への積極的な参加とあわせて、家庭での自主的な健康づくりをお願いします。

今年は、「トラ年」です。「虎に翼」ということわざがあるように、子ども自身のもっている力をさらに伸ばしていくことで、学習面も相乗効果が期待できます。学校・家庭・地域が子どもたちの体力を伸ばすためにできることから「トライ」させれば、子どもたちの体力はもっと伸びていくはず。ご理解・ご協力をお願いします。



## 介護予防活動に取り組む市内の個人・団体が表彰されました

【問合せ】高齢者支援課 高齢者支援係 ☎72-5189

地域で介護予防活動に積極的に取り組む個人・団体が県から表彰されました。表彰者は次の通りです。

### 【個人の部】(4名)

- ・宮園 ヤエ子さん(国見町榎来)
- ・秋吉 タカヨさん(国東町東堅来)
- ・花木 アキエさん(国東町東堅来)
- ・小林 習一さん(安岐町瀬戸田)

### 【団体の部】(8団体)

- ・下榎来いきいきライフ
- ・週一元気アップ教室中村
- ・堅来ニコニコさわやか会
- ・塩屋区週一元気アップ教室
- ・やなぎ週一元気アップ教室
- ・成仏若返ろう会
- ・吉木区週一元気アップ教室
- ・塩屋第二元気高齢者健やかサロン



市内では、各地区の公民館などで介護予防のための高齢者向け体操教室が開かれています(令和3年時点で、市内32か所)。心と体の健康維持のために、ぜひご参加ください。



## 地域を支える市民後見人を育成しています

【問合せ】福祉課 障がい者支援係 ☎72-5164 包括支援センター ☎72-5184

くにさき半島地域成年後見支援センターでは、市民後見人の養成講座を毎年行っています。これは、認知症や障がいなどで意思決定が困難となった方々に対し、市民後見人として支援ができる人材の育成を目的とするものです。令和3年度は、10~12月にかけて市内7名、姫島村1名の計8名が講座を受けました。

くにさき半島地域成年後見支援センター(豊後高田市 社会福祉協議会内 ☎25-5100)は、国東市・豊後高田市・姫島村が共同して運営しています。市民後見人にご興味がある方は、どうぞ気軽にお問い合わせください。



親族が近くにいらないなどの理由で、日常生活に問題を抱える認知症や障がいのある方が増えています。そうした方の権利を尊重しながら、地域で安心して暮らしてもらえよう、「市民後見人」が支え手となって活躍することが期待されています。

◀12月21日に修了式を行いました(アストくにさき)